

NPO 法人インテリジェンス研究所：第 19 回諜報研究会

2017 年 7 月 1 日（土）14 時～18 時

「インテリジェンス研究の新地平線」

第一部

司会：吉田則昭（立教大学兼任講師）

講師：武田珂代子（立教大学異文化コミュニケーション学部教授）

「連合国における諜報員養成日本語プログラム」

近著に『翻訳通訳研究の新地平』（晃洋書房、2017）、*New Insights in the History of Interpreting* (John Benjamins, 2016) など(共に編著)。

専門は通訳翻訳研究。現在、戦犯としての通訳者、連合軍の日本語教育、日本軍の戦時言語政策などを中心に、「戦争と言語」に関する研究に取り組んでいる。

第二部

司会：山本武利（NPO 法人インテリジェンス研究所理事長、早稲田大学名誉教授）

講師：大前信也（同志社女子大学現代社会学部嘱託講師）

「陸軍省軍務局軍事課の機密費管理」

専門は日本政治史。政治勢力としての陸軍が昭和戦前・戦時期の政治に果たした役割を新たな視点から解明することを課題としている。著書に『昭和戦前期の予算編成と政治』（木鐸社、2006年）、『政治勢力としての陸軍—予算編成と二・二六事件』（中央公論新社、2015年）、『陸軍省軍務局と政治—軍備充実の政策形成過程』（芙蓉書房出版、2017年）など。今回の報告は『陸軍省軍務局と政治』の第3章及び第5章に基づく。

第三部

司会：山本武利

講師：荻野富士夫（小樽商科大学商学部特任教授）

「関東憲兵隊の対ソ防諜」

近著に『「満洲国」における抵抗と弾圧』（共著、日本経済評論社、2017年）、『北洋漁業と海軍』（校倉書房、2016年）、『「戦意」の推移』（校倉書房、2014年）、『特高警察』（岩波新書、2012年）など。

専門は日本近現代史。現在は「憲兵」の問題に取り組んでいる。

NPO 法人インテリジェンス研究所 早稲田事務局（事務局長 正田浩由）

169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1

早稲田大学政治経済学術院 土屋礼子研究室気付

電子メール： npointelligence@gmail.com
